千葉県ヤクルトの健康経営「戦略マップ」2025年度版

健康診断受診者数

(2024年780人→目標1,500人)

※いずれは全員受診が目標

健康投資効果 健康投資 <従事者(社員)の健康意識啓蒙> 解決すべき経営上の課題 健康経営における重点施策 従事者教育 健康経営の仕組み 具体的な行動指標(KPI) 期待する効果 【健康課題の把握と対策】 定期健康診断および 健康経営推進担当 定期健康診断および · 健康診断後受診勧奨、事後措置 特定健診・特定保健指導 (厚生・保険課) による 特定健診・特定保健指導等の 企業理念の実現 -特定保健指導 (100%維持) 働きかけ 事後措置 健康の3要素である -要精密検査未受診者保健指導 「適度な運動」 メンタルヘルス対策 健康診断の要精密検査者再検査受診率 「バランスのとれた栄養・食生活」 -ストレスチェック実施、分析 産業医による指導 (2024年80.8% (2025年2月時点) 社 「休養・睡眠」 -セルフケア、ラインケア メンタルヘルス →目標100%) 疾病や心の健康 を意識した生活を心がけ、就労時間中のパ -不調者対応 員 総合対策 (メンタルヘルス) フォーマンスを高める 外部EAP(臨床心理士等 -第三者による相談窓口設置 の による休職を防ぐ ・敷地内禁煙・就業時間内禁煙 心理専門職)による研修 適性体重維持率 幸 感染症対策 (2023年62.3%→目標70%) や心のケア ・健康経営アンケート せ ·女性特有健康課題 禁煙対策 ストレスチェックによる 喫煙による影響に関する 従事者およびサプライチェーンの 社内環境整備 高ストレス者率 あ 【関連法規への対応・管理職理解促進】 (2024年14.7%→目標13.0%) 労働生産性向上 ・労働安全衛生法 等 IJ 定期的な健診と検診結果の活用により、疾 ・アブセンティーズムの低減 病予防や心の健康対策を推進する が 感染症に関する情報提供 ・プレゼンティーズムの低減 【その他疾病対策・予防】 感染症対策 喫煙薬 ・ワークエンゲイジメントの向上 ・ウォーキングアプリあるこっと ح (2024年22.5%→目標15.0%) ・行政主催のマラソン大会への社員参加 う 労働に関する法令に伴う ・PHR健康アプリ「Pep Up」導入 敷地内・就業時間内禁煙 研修会 の ヤクルト健康21 (健保) (100%維持) ・ラジオ体操、ヤクルトストレッチ 働き方改革 笑 <中期計画2027目標達成> ・ヘルスケア助成金 健康研修会の実施 顔 売上高 27,000百万円 管理職を含めた 自らが健康になり、顧客に対する ·自社商品飲用助成(特定保健用食品等) (外部講師) 乳本数 610,000本/日 全社員の超過勤務時間の抑制 健康訴求ができるように、ヘルスリテラ あ 人口比10.0% シーを高める 【健康経営を支える仕組み作り】 健康知識の向上・実践 営業利益率 5.1% 年次有給休暇取得率 · 衛生委員会+衛生委員会連絡会 ポスター掲示などによる (ヘルスリテラシー) れ (2023年73.4%→目標80%) ・千葉MS健康経営チーム、健康応援隊 る 地 <ステークホルダーとの更なる信頼関係の醸成> 域 解決すべき経営上の課題 ステークホルダーへの情報提供 健康経営の仕組み 具体的な行動指標(KPI) 健康経営における重点施策 期待する効果 社 サプライチェーンへの働きかけ 菌の科学性の訴求 会 サプライチェーン対象の健康情報発信 ・出前教室 (2024年384回→目標459回) づ ・オンライン工場見学 (2024年99回→目標101回) ヤクルトが考える 地域への内外美容訴求 ・美容教室 ヘルスケアカンパニーとして 美しさを訴求する活動 得意客会員制度 (ガーネット会員) 導入 (2024年112回→目標127回) 地域に密着した 健康支援と 企業責任を意識した会社品質の向上 プラットフォーマーという 情報発信 存在へ 行政主催スポーツイベントへの協力 行政健康イベントへの参画・協賛 (2024年22回→同等回数で維持)

YL、CYL、専任エステティシャン

対象の健康診断